

森林を育む 紙製飲料容器のご紹介

国産材を使った紙で出来た飲料容器を提案します。
「カートカン」は間伐材を含む国産材を30%以上を使用した
唯一、国産材を利用した飲料容器です。

生活の中で、身近に国産材利用に貢献できる容器。
毎日利用する飲料容器をコレに変えることで国内の森林は整備され、
緑の循環サイクルが機能し、美しい山になります。

「カートカン」は日本の森林の応援団です。

「カートカン」紙製環境飲料容器 4つの特長

間伐材の利用



「間伐材マーク」は間伐材を利用した製品であることを表示し、間伐や間伐材利用の重要性などを広くアピールします。消費者の方々の製品選択に資する目的で商標登録されたマークです。

緑の募金



カートカンは、売り上げの一部を「緑の募金」に寄付しています。このお金は森林整備を行うボランティア団体などの活動資金として活用されます。

木づかいサイクルマーク



再生可能な木材の利用を推進することは、枯渇資源の利用低減にもつながり、CO₂をはじめとする温暖化ガスの発生を抑制することができます。木材、紙は再生紙や古紙として利用をくり返し行えます。

エコプロダクツ大賞マーク



森を育む紙製飲料容器の利用は街の中でも自然にエコロジーを感じ、たった一人でも手軽に森林づくりに貢献できます。



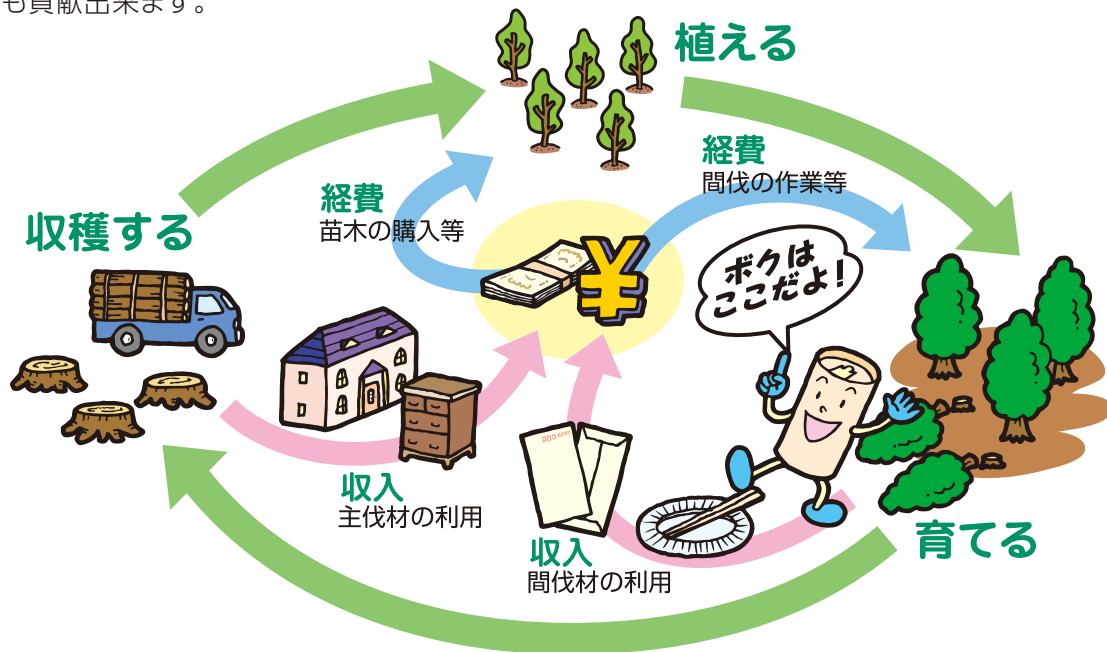
地球温暖化防止に貢献できる飲料容器を提案します。

国産材を使うことで、CO₂を吸収する森林の育成に貢献

「紙を使うことで森が育つ」というと矛盾しているようですが、紙の原材料である木材の使用が増えれば、森林の整備に必要な経費が確保されて「植える→育てる→収穫する」というサイクルがスムーズに循環し、健全な森林が育ちます。しかしながら、現在我が国の森林の多くは、安価な国外の木材におかれて、十分な循環が難しい状態にあると言われています。

我々は、国産材を30%以上使用し、間伐材や端材などの国産木質バイオマス資源を積極的に活用している「環境特性の高い紙製飲料容器」を推奨します。

豊かな国土を守り、地球温暖化の原因となるCO₂を吸収して育つ日本の森林。みなさんが「環境特性の高い紙製飲料容器」を選択して飲料を飲むことが、日本の森林を守り育てることにつながります。そして地球温暖化防止にも貢献出来ます。



省エネだけでは、CO₂は減らない

近年の異常気象や海面上昇の原因といわれている地球温暖化は、石油や石炭などの化石燃料を燃やすときに発生するCO₂が原因といわれています。省エネやリサイクルの徹底など様々な政策が打ち出されていますが、CO₂の排出抑制には効果があってもすでに排出済みのCO₂を減らす効果はありません。

一方、木は光合成によりCO₂を吸収して育ちます。森を育てながら木を使い、「植える→育てる→収穫する」というサイクルを活性化させることが、CO₂を減らして地球温暖化を防止することに、最も効果があると言われています。



森を育む紙製飲料容器普及協議会（もりかみ協議会）

〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1 TEL.03-3835-7680

HP : <http://www.morikami.jp>